

平成 27 年度 道徳教育に係る評価等の在り方に 関する専門家会議

平成 27 年 8 月 6 日
福岡市教育センター
長期研修員（道徳教育）
松元 直史

教育課程特例校 M中学校での実践研究

教育活動全体を通して行う道徳教育

道徳・倫理科

(35時間)

★専科教員による指導

立志の時間

(中1・・・85時間, 中23・・・105時間)

★担任を中心とした学年教員による指導

先人先哲の
生き方に学び、
他者と議論し
て、自分の生
き方を考える

望ましいと考
える生き方に
則り、主体的
に判断し行動
し、省察する

他者と共によ
りよく生きる
生き方につい
て考え将来の
志を立てる

日々の学校生活に加え
集団宿泊活動・ボランティア活動・自然体験活動・地域行事への参加

*キャリア教育におけるコンピテンシー

倫理の評価規準4観点で
記述式評価

行動の記録及び基礎的・汎用的能力の観点で
記述式評価

習得 (守)

活用 (破)

探求 (離)

1 「**道徳・倫理科**」における

問題解決的な学習
体験的な学習
を取り入れた実践例

問題解決的な学習とは

ねらいとする道徳的価値

自分は
どうしてる

問題
発見

自分は
どうしたらいい

探究

自分は
こうしよう

解決
の手掛かり

行動
生き方

先人や先哲

他者の考えや行動

気付く

多面的・多角的
に考える

よりよい行動
生き方を志向

体験的な学習・議論

性善説と性悪説 3学年

考え議論する

ねらいとする道徳的価値：公平，公正，社会正義

教材のプレゼンテーションを見る。

性善説とは
中国 戦国時代の孟子（もうし）の説です。
人の本性はもともとは善で、
不善は生きていく中で、
身につけてきたものである。



性悪説とは
中国 戦国時代の荀子（じゆんし）の説
人はもともと本性は悪である



先哲 孟子と荀子の考え

2 「伊達直人」が
次々現れた。

8 秋葉原通り魔事件
2008/06/08

現代の
よい行いと悪い行いのニュース(各7)

「なぜ、性善説(性悪説)を支持するのか、相手に伝えるために、資料を根拠として使って議論してください。」

考えをまとめ

ペアで議論

議論の練習

議論する道德の基盤づくり

僕は人間は
性善説

資料の※を見
てください。

資料には※と書
かれています。

だからこそ

このような理由
から

よりよい社会の実現のため～しな
ければならないと考えます。



「自分の支持する説を，相手に根拠を持って伝えられたら，**よりよい社会は実現**できるの？」

考え込む



「行動？」

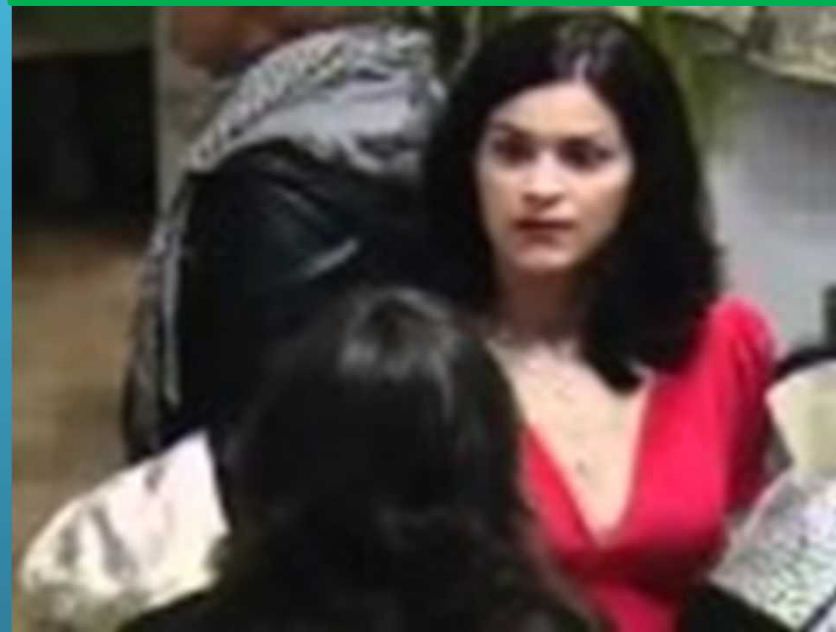
問題
発見

番組を視聴させる

「あなたならどうする？」
テレビ番組のストーリー

- ①店で，買い物をする黒人女性
- ②露骨に差別する店員
- ③その場にいる他の客は，人によって様々な反応があった。

- A 差別に同調
- B 知らないふり
- C 差別を悲しむ
- D 抗議
- E 助け出す



「番組と同じ場面に出会ったら、自分ならどうしますか？理由も示してください。」

異なる状況

「一人だったら？」

知らないふりする。
だって、大人に注意できない。

「友達と一緒にだったら？」

親が「私たちには関係ないでしょ。」と怒られるから、何もできない。

「家族と一緒にだったら？」

「さっきの議論は何だったのかな？
これじゃ、よい社会は実現できないね。」

新たな
問題
発見

現実には難しいよ。

どうしたいの
だろう

「自分はどうしたらいいか考え、解決方法がないか ペアで議論してください。」

探究

実際の議論

どうする？

俺、勇気が
足りないし

注意なんて
できないよ。

そんな店、みんな
で不買運動し
よう。

それでは、何も解決
できないよ。僕は一
人でも注意したい。

一人で解決できないなら、
友達と協力する。

多面的・多角的思考の深まり

「何かいい解決方法はありましたか？」

行動も大切。
でも、様子を見て、
真実を見極める。

大人を呼びます。



誰と一緒にでも、
私は断固、抗議します。

友達と協力して、
助け出します。

**解決
の手掛かり**

「これって、身近な学校生活にも当てはまりませんか？」

「授業を終えて、【よりよい社会の実現】について、自分の考えを書いてみよう。」

**行動
生き方**

裏庭の出来事 1学年

体験的な学習 (ロールプレイ)

ねらいとする道徳的価値：自主，自律，責任

「裏庭の出来事」を視聴させる。

教材のストーリー

- 健二，大輔，雄一は親友
- ① 裏庭でサッカーをしていたら，雄一が窓ガラスを割った。
- ② 先生に報告に行く雄一。残った二人は引き続き遊ぶ。
- ③ 今度は健二が窓ガラスを割ってしまう。
- ④ そこに，先生と雄一が
大輔は2枚とも雄一が割ったことにして，健二を弁護した。
- ⑤ 先生が去り，雄一が怒る。大輔は終わったことだからと健二に口止め。
- ⑥ 悩みぬいた健二だったが，決断をする。

これまでの「道徳の時間」

「健二はなぜ、悩んでいるのだろう。」

道徳的価値について考える

問題
発見

「どんな気持ちから健二は決断したと思いますか」

よりよい道徳的価値に気付く

日常生活を振り返る

探究

よりよい道徳的価値が分かってても、行動に至らないこともあった。

自分で考えていない。
現実には うまく行動できない。
気持ちを伝えられない

体験的な学習
(問題発見するためのロールプレイ)

「登場人物になったつもりで、先生に謝りに
行ってみよう。」(私が先生役で色々切り返す)

体験的な学習 (問題発見するためのロールプレイ)

先生，ガラスを割ってしまいました。

その件は，きのう謝ったから，大丈夫だよ。

大輔に口止めされて。

なんで，きのう，正直に話さなかったんだ。

※しどろもどろ

それじゃ 大輔のせいなのか？

あの



**新たな
問題
発見**